

一声社：TEL03-3812-0281/FAX03-3812-0537

今日は何の日？

4月20日は、郵政記念日、女子大の日（1901年、日本女子大学校開学）です。

閑話休題-ヨネやん バイトで、えげつない キャラクターショーに出演す！

①タイガーマスクの悪役でエライ目に

「子どもに夢を与える」「人手が足りず困っている」…そんな甘言に誘われてキャラクターショーに出演するハメになったヨネやん 20 歳。

滋賀県のとあるスーパー駐車場。

「ここで『タイガーマスク・ショー』をする（へえ～そうなん。何を手伝うんやろ？）」「君らがやるんや（誰が？なんで？出来るかいな）」「やるしかない！」

有無を言わせぬ迫力に、次の瞬間には悪役の衣装（ほぼショッカーのパクリ）を着て子どもらの前に立っていたヨネやん。練習もなく、タイガーマスクの技を受け、駐車場で受け身を取り、何度か無様に倒れた後、ヨネやんは信じられぬ声を聞いた。

「さあ、ちびっこども！ 悪者をやっつけろ！」

正義のヒーローと化した子どもらは狂喜乱舞。倒れているヨネやんに襲い掛かる。小さな子どもたちは、手加減を知らない。特に相手が「悪者」の場合は…。

「痛い！やめんかい！ええ加減に…」

ヨネやんの怒りが沸点に達する直前、天の声が聞こえてきた。

「よくやったぞ、ちびっこども。もう、そのへんにしといたれ！」

ショー終了後、ヨネやんは言った。「二度

と手伝わん！」。しかし、その1か月後、またまたキャラクターショーに出てしまうヨネやん。なんで？ 今度は、ゴレンジャーや。えらいこっちゃ～！

どうなるのか？ヨネやん。次号へ続く➡

この本はお勧めです！

『静かな大地』（池澤夏樹著、朝日文庫）

明治時代、淡路島から北海道に入植した兄弟の話。この本を読むまで、アイヌの人たちの事、和人が彼らにしてきた事を、自分が本当にわかっていなかったのだと気付かされた。生半可な知識に血が通った瞬間だった。

テレビは「日本すごい！番組」があふれている。そんな時代にこそ読んでほしい。

保育書&小道具フェア開催中！

★ゲコゲコ鳴くカエル

（『作って・歌って・話して・あそぶ おはなし小道具』芳賀哲）

*紙コップと曲がるストローで作れる！

*紙コップの大きさを変えると音も違う！

好きな色を塗って、色んなカエルにしよう！

◎「ゲコゲコ鳴くカエル」の動画

は、このQRコードでご覧ください。↓



今日の歌：高浜虚子

風吹けば 来るや隣の こいのぼり